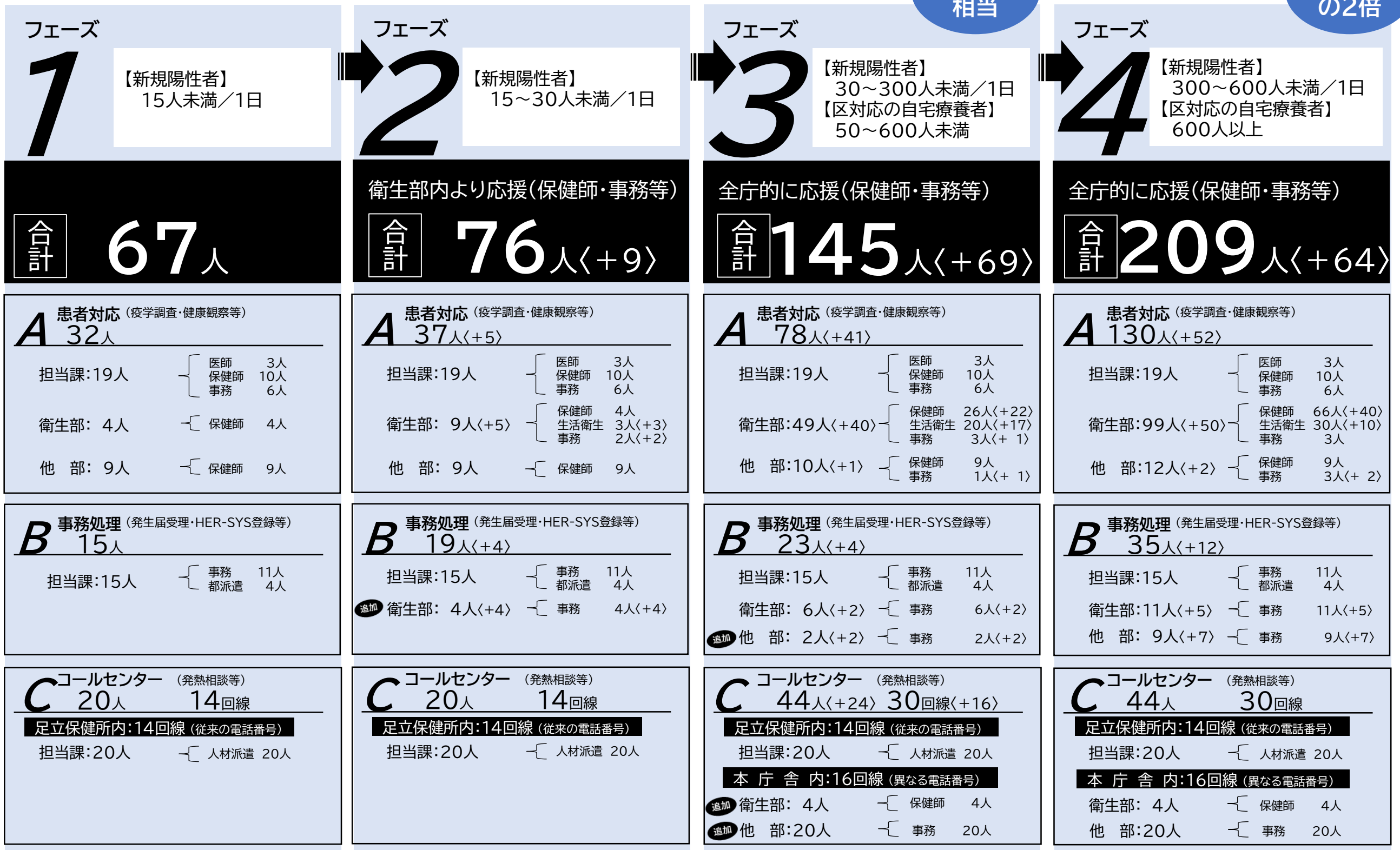


新型コロナウイルス感染拡大に向けた保健所の体制

【各フェーズにおける保健所人員体制のイメージ】



電話回線増の懸念

・保健所内に新たに電話回線を増設することは困難(場所・新たな工事)
本庁舎内では別の電話番号を設定する必要がある
(周知の問題や、業務の切り分けが必要)

新型コロナウイルス感染拡大に向けた保健所の体制

BCPにおける保健センター及び保健所の業務について

【概要】

各フェーズごとに残さなければいけない業務は以下のとおり

		フェーズ③	フェーズ④
フェーズの基準	新規陽性者数	30～300人未満/1日 (令和3年8月相当)	300～600人未満/1日 (令和3年8月以上)
	区で対応する 自宅療養者数	50～600人未満 (令和3年8月相当)	600人以上 (令和3年8月以上)
保健センター業務		以下を除き、業務は延期・中止 ①予防接種等の申請窓口受付業務(パソナ委託) ②乳児(3・4か月)健診 ③支援が必要な妊婦・精神障がい者等ハイリスク ケースへの個別支援 ④虐待・自殺関連・警察官通報等緊急対応	業務は原則すべて延期・中止するが、以下は対応 ①予防接種等の申請窓口受付業務(パソナ委託) ②虐待・自殺関連・警察官通報等緊急対応 ③相談対応は予約制
保健所業務 (生活衛生課・衛生試験所)		通常業務	①窓口業務縮小(営業許可等のみ) ②食中毒・生活衛生に関する緊急対応 ③検便等検査(保育園等未閉鎖施設への対応)